

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・11・23 (火)
南NEWS no 89

試合前のミーティング



めあてをみんなで決めて、中村コーチと戦術の確認をしています。

しっかり共通理解して、自分の気持ちを強く戦う(DUEL)レベルまで高める時です。

しっかりプレスバックができたときはボールを奪い返すことができました。でも、そのDUELが単発で続きませんでしたね。課題です。

23日の練習では、試合の振り返りをして、自分たちに足りなかったのは何かを確認して、その課題を解決するための練習ができましたか？！



市民スポーツ大会 6年生

2021-11-21 (日) 会場：文化大グラウンド

○めあて：5つ観て判断、コーチング/技を使う/パス&ムーブ

○南八王子 0-7 なかのSC 前半 0-3

前半 6 分、ゴールキックがペナルティエリア手前の相手にカットされミドルを決められ失点。同 8 分、左 SB カイリ君が相手陣内でインターセプト、CH カツヤ君につないでシュートするも枠を外れます。終了間際の同 20 分、相手が大きく蹴り込んで来たところ、前に出た GK ダイスケ君が目測を誤りワンバウンドしたボールがそのままゴール。南キックオフで再開した直後、勢いづいた相手のプレスにかかりゴール前の混戦から押し込まれ 3 失点目。

後半 2 分、またもや相手ミドルで失点。同 8 分、相手の蹴ってきたボールに GK が前に出ますが触れず、がら空きのゴールへ流し込まれます。同 11 分、トップのハルト君へ右 SH ショウタ君が縦パス、そのまま追い越すショウタ君へワンツーが決まって渡り廊下を突破するナイスプレー。同 20 分、左サイドからカットインされ失点、続けて相手クロスに GK がキャッチできずにこぼして押し込まれ失点。

★試合を振り返って

6年生 6 人と 5 年生 2 人 (ショウタ君、コウスケ君) の 8 人ぴったりで臨んだ市民スポーツ大会は 1 回戦敗退となりました。スコアだけ見ればこっぴどくやられた大敗です。でも、選手の皆さんは実によくがんばりました。コーチは皆さんを誇りに思います。これだけ失点すると、もはやサッカーで無くなり、選手はプレーをあきらめ棒立ちになり、失点に理由を求めるのは無理になることがほとんどです。いわゆる「試合が壊れた」状況になるのが普通なのに、皆さんは最後までサッカーをしていました。戦っていました。すべての失点に理由がありました。長くなりますが、細かく振り返ります。

■ 1 失点目 (前半 6 分) 最初からシュートを何本も打たれましたが、GK ダイスケ君がことごとく正面でキャッチ。ポジショニングもキャッチングも安心して見ていられました。最初の失点はゴールキックからです。前回の潤徳ガルーダとの練習試合はゴールキックからの再開でピンチになっていたのも、これまで練習していた約束事をしっかりやろうと試合前に確認していたのが裏目に出ました。

2-4-1 の相手は南の SB にまったく付いてこず、待ち構える相手 SH に向かって蹴り込む形になってしまいました。ベンチから修正すべきだったとコーチも悔やんでいますし、選手自身の判断で修正してほしかったとも思いますが、

いずれにしてもゴール前で相手にプレゼントパスをしての失点です。この後、CB アサキ君が修正してゴールキックからのピンチはありませんでした。

サイドを何度も破られてクロスがたくさん入れられました。GK ダイスケ君が全部キャッチします。相手コーナーキックもそのままキャッチするファインプレーもありました。中央から攻められたときは CH カツヤ君がしっかりチェックしていました。

■ 2 失点目 (前半 20 分) 前半は 0-1 のまま、ときどき南もチャンスを作る緊張感のある展開で進みました。とくにカイリ君のインターセプトからのカツヤ君のシュートはビッグチャンスでした。しかし、残り時間 1 分を切ったところで、蹴り込まれたボールを GK ダイスケ君が目測を誤り、頭を越されて失点してしまいます。いわゆる「バンザイ」という痛いミスでした。いつもなら危なげなくキャッチできたでしょう。



でも、理由があります。コーチは前々から失敗して何点取られてもいいから、前に出るチャレンジをしよう、クロスにもできるだけ出てほしいとダイスケ君に伝えていきます。南八王子招待に向けて経験を積んで欲しいからです。最近、前に出る場面でためらうことがあるよね、という話もしています。今日のダイスケ君がクロスをあれだけキャッチできていたのは前に出ていたからです。ですから失点もチャレンジの結果です。コーチが原因の失点と言っているでしょう。

■ 3 失点目 (前半 20 分) この 2 点目の失点で緊張の糸が切れてしまい、キックオフでなんとなく後ろに下げたボールを取られて押し込まれたました。試合が壊れかけた余計な失点です。ここでお互いに声をかけあってもう一度気持ちを立て直せると良いのですが、これは課題ですね。

ハーフタイムでは、SH のショウタ君、コウスケ君が相手ボールに突っ込みすぎて、相手に抜かれると SB のカイリ君とマサムネ君が出て行くことになり、その裏のスペースを使われているのを修正しようとしていました。試合前からこの状況は予想でき、確認していたことですが、この試合では結局最後まで修正できませんでした。

■ 4 失点目 (後半 2 分) 後半、カツヤ君とダイスケ君がみんなに声をかけてピッチに入っていました。それに応える選手がいなかったのが気になりました。前半終了間際の 2 失点を引きずったままの気持ちを修正できませんでした。ミドルを決められたのは、相手へのチェックがなかったからです。この試合全体を通して、選手間の距離が空いてしまい、いたるところで数的不利、数的同数を作られていました。

SH の二人はサッカーの理解がこれから深まる場所でポジション取りが不安定だったこともありますし、ずっと走りまわっていた CH カツヤ君の足が止まって後ろに残りがちになると、CB アサキ君がラインを上げづらくなります。トップのハルト君の運動量が足りないのも、方向を限定することができず、いきなりハーフのライン (第 2 線) から守備がはじまる状態が続く上、がまんできずに突っ込んでチャレンジ&カバーができていませんでした。ただ、ハルト君はケガをした後で、そんなにボールを追わなくてもよいから高い位置をとってボールを受けられる準備をするようコーチは伝えていました。ハルト君が高い位置を取り続けていたため、相手の CB2 人 (10 番、8 番) は、ずっとハ

ルト君のマークに張り付いて、ほとんど攻撃参加していません。普通であれば完全に試合が壊れるこの状況で、アサキ君のコーチングをはじめ、だんだんピ

ッチの中で声が増えていきます。選手たちの戦う気持ちが表に出てきました。コーナーキックをはじめ、再びチャンスが作れるようになってきました。

■ 5 失点目（後半 8 分）GK ディスケ君が前に出るチャレンジをしましたが、タイミングが悪くプレーにためらいがあったので触れずゴールが空いてしまいました。

■ 6 失点目（後半 20 分）ポジションバランスを崩しても前に人数をかけて 1 点を奪いにいきました。体力的にきつい時間になっても、よくファイ



トしていたと思います。カウンターを受けますがなんとかしのいだところ、左サイドからドリブルで持ち込まれて失点。左 SB のカイリ君がずっと数的不利の状況で防いでいましたが、足がもう止まっていました。

■ 7 失点目（後半 20 分）クロスがディスケ君がキャッチできずに押し込まれましたが、これだけクロスを上げられると、GK 一人では防ぎきれません。課題はたくさんありますが、選手たちは今持っている力をいっしょうけんめい發揮していました。

こうしてみると防げる失点がほとんどだったことがわかります。失点した時間にも注意してください。前半のチャンスを活かしていれば、1-1 の同点で PK 戦に持ち込んで勝っていたかも知れません。そんな可能性のある試合でした。

■ 良かったところ

カイリ君が試合後に「ずっと 1 対 3 だった」と振り返ったように、この試合では選手間の距離が遠く、ほとんどの場面が数的不利・数的同数でした。一方で、瞬間瞬間で生まれる 1 対 1 の状況では互角以上に戦っていました。なかの SC はこの後も勝って 3 回戦に進んでいます。そのレベルの相手に 1 対 1 では負けていない、むしろ勝っています。特にマサムネ君、カイリ君、カツヤ君のところよくふんばり、アサキ君がカバーしていました。

もう一つ、見逃せないのは選手たちの感情の変化です。4 失点目以降、コーチが感じたのは選手たちの苛立ちでした。闘争心からの感情でしょう。試合後のミーティングでは、「憤り」という形で現れていましたが、とても好ましい変化だと思います。「憤り」をそのまま味方への不満として終わらせず、練習や試合でお互いに要求できるチームに変えていきましょう。

みんなのできたことと課題

☆ディスケ君…すごい数のシュート、クロスを超スーパーなレベルでキャッチ。正面で止めているのでかんたんそうに見えますが、ポジション取りがよいため、本当は難しいプレーばかりです。今日のミスがディスケ君の成長につながることを期待。左足でのクリアもすばらしかった。

☆アサキ君…後ろで持ちすぎる癖を見せず、ターンして攻撃の方向を作る。カバーもしっかりしていました。賢く、技術もリーダーシップもあり、本当に頼もしい選手。アジリティをもう少し上げられたら……。

☆マサムネ君…予想以上に守備で相手を止めていました。前に運ぶ力もついてきています。やはりアジリティは課題。ショウタ君が振り返ったように、前

の選手にコーチングできたのがすばらしい。楽しめれば上手さを見せられる選手。

☆カイリ君…数的不利な状況で奮闘。思い込みでプレーの選択肢を狭めるのをやめよう。前の選手をコーチングで動かしたい。前半のインターセプトはカイリ君の認知・判断・実行する力のたまものです。

☆カツヤ君…先日の潤徳ガルーダ戦に続き、真ん中で守備ができることを証明。中盤の数的不利をよく防ぐ。ドリブルの力はドリブルチャンピオン賞までもうひとふんばりのところまで来ました。課題はドリブルからのシュート。キャプテンぶりも板に付いてきた。

☆ハルト君…ケガした後でもよくがんばりました。トラップの上手さを活かして、縦パスを受けてチャンスを作れました。ショウタ君とのワンツーは最高でした。相手の CB 二人を引きつけていたのは目立たないながら重要な功績。

☆ショウタ君…後半はポジショニングをある程度修正できた。ハルト君とのワンツー突破はこの試合一番の光るプレー。話を聞く力があり、言葉にする力にもすぐれているので、もっと周りに影響できる選手。課題は走力。走り方のフォームから見直そう。

☆コウスケ君…すぐ蹴ってしまう癖がありますが、今日は体を入れてボールを奪うことに何回もチャレンジ、何回か成功。サッカーへの理解を深めていこう。今は自分とボールと相手一人だけの関係でプレーしています。次はそこに味方を一人入れた関係を作れるようになろう。

■ 今後の課題

- ・サイドハーフの守備 6 年生、5 年生の重要課題。2-4-1 の相手に真ん中で数的不利を作らないためにどうするか練習しましょう。サイドで裏を取らせないために SB とのチャレンジ&カバーも。
- ・スローイン 前日の練習が活きなかったのは残念。大事なセットプレーです。

■ お礼と報告

今日は会場当番で朝から夕方まで長い時間、保護者の方もありが とうございました。

加藤コーチが審判をやってくださり、久しぶりに 6 年生の 試合が見られてうれしかったとおっしゃっていましたよ！」

b y 中村元コーチ



♪ 山茶花 山茶花 咲いた道

焚き火だ 焚き火だ 落ち葉焼き ♪

保育園時代に好きだった歌です。

今日の北風で風邪を引いてしまいました。



